注３ **大学番号：私短０４５**

届出

［平成24年度設置］

計画の区分：短大学科設置

注１

國學院大學栃木短期大学

日本文化学科・人間教育学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　國學院大學栃木学園

平成２５年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　事務局

職名・氏名　　事務長　白山（シヤラマ）　実（マコト）

電話番号　　０２８２－２４－７９１４

（夜間）　　０２８２－２２－５５１１

ＦＡＸ　　０２８２－２２－５７４３

ｅ－mail　　tandai@kokugakuintochigi.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には認可時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２５年３月１５日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　　次

１　調査対象大学等の概要等

（１）　設置者

（２）　大学名

（３）　大学の位置

（４）　管理運営組織

（５）　調査対象学部等の名称・定員・入学者の状況等

２　授業科目の概要

３　施設・設備の整備状況、経費

４　既設大学等の状況

５　教員組織の状況

６　留意事項に対する履行状況等

７　その他全般的事項

８　添付資料

ＦＤ委員会規程

自己点検・評価委員会規程

ＦＤ委員会活動報告書　第３号

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学　校　法　人　　國 學 院 大 學 栃 木 学 園

（２）大　学　名

國 學 院 大 學 栃 木 短 期 大 学

（３）大学の位置

〒３２８－８５８８
栃木県栃木市平井町６０８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	届　　出　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ キムラ　ヨシナリ ） 木　村　好　成 （平成１５年４月）		
学　　長	（ ナカムラ　ユキヒロ ） 中　村　幸　弘 （平成１９年４月）		
学 部 長			
学科長等	（ キタイ　トシオ ） 鍛　代　敏　雄 （平成２４年４月）		日本文化学科長
	（ ゴトウ　マサト ） 後　藤　正　人 （平成２４年４月）		人間教育学科長

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２３年度に報告済の内容　→（23）
平成２５年度に報告する内容　→（25）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２２年度開設の４年制の学科の場合（平成２５年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
日本文化学科 短期大学士 （日本文化学）	年 2	人 200	年次 人 —	人 400	
人間教育学科 短期大学士 （人間教育学）	年 2	人 160	年次 —	人 320	

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２４年度				平成２５年度				平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
	日本文化学科		人間教育学科		日本文化学科		人間教育学科			
A　入学定員	人 200 （ — ） [—]	人	人 160 （ — ） [—]	人	人 200 （ — ） [—]	人	人 160 （ — ） [—]	人	日本文化学科 0.57倍 人間教育学科 0.66倍	
志願者数	165 （ — ） [—]	（ — ） [—]	143 （ — ） [—]	（ — ） [—]	168 （ — ） [—]	（ — ） [—]	171 （ — ） [—]	（ — ） [—]		
受験者数	162 （ — ） [—]	（ — ） [—]	143 （ — ） [—]	（ — ） [—]	165 （ — ） [—]	（ — ） [—]	166 （ — ） [—]	（ — ） [—]		
合格者数	159 （ — ） [—]	（ — ） [—]	140 （ — ） [—]	（ — ） [—]	162 （ — ） [—]	（ — ） [—]	165 （ — ） [—]	（ — ） [—]		
B　入学者数	115 （ — ） [—]	（ — ） [—]	104 （ — ） [—]	（ — ） [—]	116 （ — ） [—]	（ — ） [—]	109 （ — ） [—]	（ — ） [—]		
入学定員超過率 B／A	0.57		0.65		0.58		0.68			

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２４年度				平成２５年度				備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
	日本文化学科		人間教育学科		日本文化学科		人間教育学科		
１年次	[—] 115	[—]	[—] 104	[—]	[—] 116	[—]	[—] 109	[—]	
２年次					[2] 114	[—]	[—] 99	[—]	
３年次									
４年次									
計	[ ] 115		[ ] 104		[2] 230		[ ] 208		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

（５）ー④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度		入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成24年度入学者	日本文化学科	115 人	3 人	平成24年度	3 人	— 人	学生個人の心身に関する事情(3名)	2.6 %
				平成25年度	— 人	— 人		
	人間教育学科	104 人	5 人	平成24年度	5 人	— 人	就職(1名)　就学意欲の低下(2名) 他の教育機関への入学・転学(2名)	4.8 %
				平成25年度	— 人	— 人		
平成25年度入学者	日本文化学科	116 人	— 人	平成25年度	— 人	— 人		0 %
	人間教育学科	109 人	— 人	平成25年度	— 人	— 人		0 %
		人	人		人	人		%
		人	人		人	人		%
		人	人		人	人		%
		人	人		人	人		%
合　計		444 人	8 人					1.8 %

（注）・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

〈　日本文化学科・人間教育学科　〉

（１）授業科目表

教育課程等の概要

（教養科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
必修科目	神道と日本文化	1前後	2			○			1						
	国語（ことばと表現）	1前	2			○			3	1				兼1	
	フレッシュマン イングリッシュⅠ	1前	1				○		1	1	1				能力別クラス編成を導入したため教員を追加（24）担当　三品勝弘（准教授）
	フレッシュマン イングリッシュⅡ	1後	1				○		1	1	1				
	スポーツ・健康科学ＡⅠ	1前	1					○	2						
	スポーツ・健康科学ＡⅡ	1後	1					○	2						
	小計（6科目）		8	0	0		―		7	2 ~~1~~	1				
基礎選択科目	文学（文学とメディア）	1後		2		○				1					
	日本文学特殊講義	1前後		2		○								兼1	
	現代社会と倫理	1後		2		○			1					兼1	
	世界の宗教	1後		2		○			1						
	歴史発見	1後		2		○					1				
	音楽（オペラ・ミュージカル鑑賞法）	1前後		2		○			1						
	音楽（理論と表現）	1前		2		○			1						
	日本国憲法	1前後		2		○								兼2	
	現代政治入門	~~1前後~~		2		○			~~1~~						担当教員が体調不良で退職のため開講せず（25）
	市民生活と経済	1後		2		○			1 ~~2~~						受講者減少のため、1講座のみ 開講（25）
	地球環境と人間活動	1前		2		○			1						
	教育と社会	1後		2		○			1						
	データの科学	1後		2		○			1						
	情報処理	1前後		2			○				1				
	キャリアプランと職業	1前		2		○			1						キャリア教育を充実するため科目を追加（24）担当　河田美惠子（教授）
	生活と数学	1後		2		○								兼1	教養科目充実のため科目を追加（25）担当　夏坂哲志（講師）
	化学と生活	1前		2		○			1						
	生命の進化	1前		2		○			1						
	日本人の起源と進化	1前		2		○			1						
	自然と環境	1休		2		○								兼1	集中
	小計（~~18~~ ~~19~~ 20科目）		0	40 ~~38~~ ~~36~~	0		―		11 ~~13~~ ~~12~~	1	1				

教育課程等の概要

（教養科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
発展選択科目	神道と社会	2前			2	○			1						
	政治と人間	2前後			2	○			1						
	人類の起源と進化	2後			2	○			1						
	日本の歴史と文化	2後			2	○					1				
	シニア イングリッシュＡⅠ	2前			1		○		1						
	シニア イングリッシュＡⅡ	2後			1		○		1						
	シニア イングリッシュＢⅠ	2前			1		○				1				
	シニア イングリッシュＢⅡ	2後			1		○				1				
	シニア イングリッシュＣⅠ	2前			1		○		1						
	シニア イングリッシュＣⅡ	2後			1		○		1						
	シニア イングリッシュＤⅠ	2前			1		○			1					國學院大學編入に必要な単位数が増えたので科目を追加（25） 担当　三品勝弘（准教授）
	シニア イングリッシュＤⅡ	2後			1		○			1					
	フランス語ＡⅠ	~~2前~~			1		○							~~兼1~~	担当教員が体調不良で退職のため開講せず（25）
	フランス語ＡⅡ	~~2後~~			1		○							~~兼1~~	
	フランス語ＢⅠ	~~2前~~			1		○							~~兼1~~	
	フランス語ＢⅡ	~~2後~~			1		○							~~兼1~~	
	中国語ＡⅠ	2前			1		○		1						フランス語が開講できなかったため、近年受講者が増加している中国語を各2講座開講（25）
	中国語ＡⅡ	2後			1		○		1						
	中国語ＢⅠ	2前			1		○							兼1	
	中国語ＢⅡ	2後			1		○							兼1	
	コリア語ＡⅠ	~~2~~ 1前			1		○							兼1	韓国の協定校に留学する学生がいるため、1年次に開講（24） 本務校の都合で就任辞退 担当教員変更 担当　小川靖子（講師）（24）
	コリア語ＡⅡ	~~2~~ 1後			1		○							兼1	
	コリア語ＢⅠ	2前			1		○							兼1	
	コリア語ＢⅡ	2後			1		○							兼1	
	スポーツ･健康科学ＢⅠ	2前			1			○	1						
	スポーツ･健康科学ＢⅡ	2後			1			○	1						
	小計（~~24~~ 26科目）		0	0	30 ~~28~~		―		7	~~1~~ 0	2				
合　計（~~48~~ ~~49~~ 52科目）			8	40 ~~38~~ ~~36~~	30 ~~28~~				18 ~~20~~ ~~19~~	3 ~~2~~ ~~1~~	3				

教育課程等の概要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
導入科目	日本文化概説	1前	2			○			1					オムニバス	
	小計（1科目）		2	0	0		―		1	0	0	0	0		
フィールド別基礎科目	日本文学概説Ⅰ	1前		2		○			1						日本文学フィールド必修
	日本文学概説Ⅱ	1後		2		○			1						
	日本文学通史	1前		2		○								兼1	
	漢文入門	1後		2		○			1						
	文学基礎研究法	1後		1			○		5	1				オムニバス	
	卒業研究	2通		1			○		6	1					
	言語文化	1後		2		○			1						日本語概説Ⅱを開設したため科目名を変更（24）
	日本語概説Ⅰ	1前		2		○			1						
	日本語文法	1前		2		○			1						言語文化フィールド必修
	日本語教育	1後		2		○								兼1	講座内容充実のため担当教員の変更 担当　小川靖子（講師）（24）
	日本語表現法	2前		2		○			1						
	日本文化史概説	1前		2		○			1						日本史フィールド必修
	史学基礎演習	1前後		2			○		1						
	史学基礎研究法	1前後		2			○				1				
	歴史資料論	1後		2		○			1						
	卒業研究	2通		2			○		6 ~~4~~		1				担当教員を増員（25） 担当　寺崎宣昭（教授） 田沼眞弓（教授）
	小計（16科目）		0	30	0		―		13 ~~11~~	1	1	0	0		
専門科目	日本文学フィールド														
	文学講読（万葉集）	1後		2		○								兼1	
	文学講読（源氏物語）	1後		2		○			1						
	文学講読（平家物語）	1後		2		○			1						
	文学講読（近世文学）	1後		2		○			1						
	文学講読（近代文学）	1後		2		○								兼1	
	文学講読（現代文学）	1後		2		○				1					
	時代文学史（上代・中古）	2前		2		○			1						
	時代文学史（中世・近世）	2前		2		○			1						
	時代文学史（近代・現代）	2前		2		○			1						
	日本文学演習~~（上代文学）~~（中古文学）Ⅰ	2前		2			○		1					~~兼1~~	科目名を訂正 専門科目の充実のため Ⅱを追加開設（25）
	日本文学演習（中古文学）Ⅱ	2後		2			○		1						
	日本文学演習~~（中古文学）~~（中世文学）Ⅰ	~~2前~~		2			○		1						
	日本文学演習（中世文学）Ⅱ	~~2後~~		2			○		1						受講者がいなかったため 平成25年度休講（25）
	日本文学演習~~（中世文学）~~（近代文学）Ⅰ	2前		2			○		1					兼1	
	日本文学演習（近代文学）Ⅱ	2後		2			○		1					兼1	
	日本文学演習~~（近世文学）~~（現代文学）Ⅰ	2前		2			○			1					
	日本文学演習（現代文学）Ⅱ	2後		2			○			1					
	日本文学演習~~（近代文学）~~（比較文学）Ⅰ	~~2前~~		2			○		1					~~兼1~~	受講者がいなかったため 平成25年度休講（25）
	日本文学演習（比較文学）Ⅱ	~~2後~~		2			○		1						
	創作文芸概説	1前		2		○				1					
	創作文芸入門（児童文学・絵本）	1後		2		○				1					
	創作文芸入門（短歌・俳句・詩）	1後		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	創作文芸入門（小説・随筆）	1後		2		○			1					兼1	専門科目充実のため 2講座開講（25） 担当　岡本　岱（講師）
	創作文芸演習（詩・短歌）Ⅰ	2前		2			○							兼1	科目名を訂正 専門科目の充実のため Ⅱを追加開設（25）
	創作文芸演習（詩・短歌）Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	創作文芸演習（俳句・連句）Ⅰ	2前		2			○		1						
	創作文芸演習（俳句・連句）Ⅱ	2後		2			○		1						
	創作文芸演習（小説・随筆）Ⅰ	2前		2			○		1					兼1	
	創作文芸演習（小説・随筆）Ⅱ	2後		2			○		1					兼1	
	創作文芸演習（児童文学・絵本）Ⅰ	2前		2			○			1					
	創作文芸演習（児童文学・絵本）Ⅱ	2後		2			○			1					
	日本芸能文化論	2後		2		○			1						
	日本民俗学概説	1前		2		○								兼1	
	民俗文芸講読Ⅰ	2前		2		○			1						
	民俗文芸講読Ⅱ	2後		2		○			1						
	民俗文芸講読Ⅲ	2後		2		○								兼1	専門科目充実のため 講座を追加（25） 担当　小林吉一（講師）
	民俗文芸演習Ⅰ	2後 前		2			○							兼1	科目名を訂正 専門科目の充実のため Ⅱを追加開設（25）
	民俗文芸演習Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	日本語・日本文学情報処理	2後		2			○		1						
	漢文学概説Ⅰ	2前		2		○			1						
	漢文学概説Ⅱ	2後		2		○			1						
	漢文学講読	2前		2		○			1						
	児童文学講読	2前		2			○			1					専門科目充実のため 講座を追加（25） 担当　大山　尚（准教授）
	書道Ⅰ	1前		2			○							兼~~3~~ 4	担当教員を増員（25）
	書道Ⅱ	1後		2			○							兼~~3~~ 4	
	小計（~~33~~　45科目）		0	90	0		―		4	1	0	0	0		
	言語文化フィールド														
	日本語の歴史Ⅰ	1前		2		○			1						
	日本語の歴史Ⅱ	1後		2		○			1						
	比較文学	2前		2		○			1						
	日本語演習（古代語）Ⅰ	2前		2			○		~~1~~ 2						専門科目充実のため 2講座追加（25） 担当　中村幸弘（教授）
	日本語演習（古代語）Ⅱ	2後		2			○		~~1~~ 2						
	日本語演習（近・現代語）Ⅰ	2前		2			○		1						
	日本語演習（近・現代語）Ⅱ	2後		2			○		1						
	口承文芸Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	口承文芸Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	日本語概説Ⅱ	1後		2		○			1						國學院大学編入のため ⅠとⅡの開設が必要であったため科目を追加（24） 担当　南　芳公（教授）
	日本語学各論	2後		2		○			1						
	言語学	2前		2		○			1						
	比較文化	2後		2		○			1						
	外国語文化（アメリカ事情）	1前		2		○			1						
	外国語文化（イギリス事情）	1後		2		○			1						
	外国語文化（中国事情）	1後		2		○								兼1	
	外国語文化（韓国事情）	1後		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	国際文化交流Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	国際文化交流Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	国際社会問題	2後		2		○			1						
	言語コミュニケーション	1後		2		○			1						
	日本語スキルⅠ	1前		2		○			1						
	日本語スキルⅡ	1後		2		○			1						
	ビジネス英語	2前		2		○			3						
	小計（~~23~~ 24科目）		0	48 ~~46~~	0	―			8 ~~7~~	0	0	0	0		
	日本史フィールド														
	日本史入門Ⅰ	1前		2		○			1						導入科目の充実のため科目を追加（24）担当　酒寄雅志（教授）
	日本史入門Ⅱ	1後		2		○			1						
	日本古代史概説	1後		2		○			1						
	日本中世史概説	1後		2		○			1						
	日本近世史概説	1前		2		○					1				
	日本近代史概説	1前		2		○			1						
	古代史料講読Ⅰ	2前		2		○			1						科目名を訂正 専門科目の充実のためⅡを追加開設（25）
	古代史料講読Ⅱ	2後		2		○			1						
	中世史料講読Ⅰ	2前		2		○			1						
	中世史料講読Ⅱ	2後		2		○			1						
	近世史料講読Ⅰ	2前		2		○					1				
	近世史料講読Ⅰ	2後		2		○					1				
	近代史料講読Ⅰ	2前		2		○			1						
	近代史料講読Ⅱ	2後		2		○			1						
	古文書学概説	1前		2		○			1						
	古文書学研究	1後		2		○					1				
	古文書学演習Ⅰ	2前		2			○		1						科目名を訂正 専門科目の充実のためⅡを追加開設（25）
	古文書学演習Ⅱ	2後		2			○		1						
	日本美術史Ⅰ	2前		2		○			1						
	日本美術史Ⅱ	2後		2		○			1						
	東洋史概説Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	東洋史概説Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	東洋文化史Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	東洋文化史Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	西洋史概説Ⅰ	1前		2		○			1						
	西洋史概説Ⅱ	1後		2		○			1						
	日本文化史演習Ⅰ	1後 前		2			○		1						科目名を訂正 専門科目の充実のためⅡを追加開設（25）
	日本文化史演習Ⅱ	1後		2			○		1						
	考古学概説Ⅰ	1前		2		○			1						
	考古学概説Ⅱ	1後		2		○			1						
	考古学演習Ⅰ	2前		2			○		1						科目名を訂正 専門科目の充実のためⅡを追加開設（25）
	考古学演習Ⅱ	2後		2			○		1						
	考古学フィールドワークⅠ	1後 前		2			○		1						
	考古学フィールドワークⅡ	1後		2			○		1						
	文化財学	2前		2		○								兼1	
	人文地理学	2後		2		○								兼1	
	自然地理学	1休		2		○								兼1	集中
	日本地誌	2前		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	宗教学概論	2後			2	○								兼1	教職必修
	倫理学	2前			2	○								兼1	教職必修
	政治学	2前			2	○								兼1	教職必修
	経済原論	2前			2	○			1						教職必修
	小計（~~32~~ ~~34~~ 42科目）		0	76 ~~60~~ ~~56~~	8		―		7 ~~6~~	0	1	0	0		
自由選択科目	コンピュータと情報Ⅰ	1前		2			○							兼1	
	コンピュータと情報Ⅱ	1後		2			○							兼1	
	マルチメディア演習	1後		2			○				1				
	プログラミングⅠ	1前		1			○							兼1	
	プログラミングⅡ	1後		1			○							兼1	
	プログラミングⅢ	2前		1			○							兼1	
	プログラミングⅣ	2後		1			○							兼1	
	CG（コンピュータグラフィックス）	2後		2			○				1				
	秘書実務Ⅰ	1前		1		○			1						
	秘書実務Ⅱ	1後		1		○			1						
	文書実務Ⅰ	1前		1		○			1						
	文書実務Ⅱ	1後		1		○			1						
	Webデザイン	1前		2			○				1				
	Webデザイン演習	2前		2			○				1				
	基礎経済学Ⅰ	1前		2		○			1						
	基礎経済学Ⅱ	1後		2		○			1						
	マーケティングⅠ	1前		2		○								兼1	
	マーケティングⅡ	1後		2		○								兼1	
	カラーコーディネート論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	カラーコーディネート論Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	ビジネス実務総論	2前		2		○			1						
	ビジネス実務演習Ⅰ	2前		1			○		1						
	ビジネス実務演習Ⅱ	2後		1			○		1						
	プレゼンテーション概論	1後		2		○					1				
	プレゼンテーション演習Ⅰ	2前		2			○				1				
	プレゼンテーション演習Ⅱ	2前		2			○				1				
	情報機器利用プレゼンテーション演習	2後		2			○				1				
	ネットワーキング原理	2前		2			○							兼1	
	基礎経営学	2前		2		○								兼1	
	日本の経済	1後		2		○			1						
	世界の経済	2後		2		○			1						
	金融の基礎	1前		2		○			1						
	経済史概論	1後		2		○			1						
	企業と簿記	1前		2			○							兼1	
	簿記演習	1後		2			○							兼1	
	経済演習	2前		2			○		1						
	小計（36科目）		0	62	0		―		4	0	1	0	0		
教職課程科目	教師論	1前			2	○								兼1	教職員課の指導により担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師）（24）
	教育原理	1前			2	○								兼1	教職員課の指導により担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師）（24）

教 育 課 程 等 の 概 要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
教職課程科目	教育心理学	1後			2	○			1					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 オムニバス 担当　勝浦範子（教授） 月本由紀子（講師） （24）
	教育制度論	2後			2	○								兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師） （24）
	教育課程論	2前			2	○								兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　野澤有希（講師） （24）
	国語科教育法	1後			2	○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　石原　広（講師） （24）
	社会科教育法	1後			2	○								兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　篠崎正典（講師） （24）
	道徳教育の研究　理論と実践	2前			2	○			1					兼~~1~~	教職員課の指導により 科目名と担当教員の変更 担当　小川澄江（教授） （24）
	特別活動	2後			2	○								兼1	
	視聴覚教育	2前			2	○								兼1	
	教育方法論	2休			2	○								兼1	教職員課の指導により 科目を追加 担当　宮寺晃夫（講師） （24）
	生徒･進路指導論	2後			2	○								兼2	
	教育相談（含むカウンセリングを含む）	2前			2	○					1			兼~~1~~	教職員課の指導により 科目名と担当教員を変更 担当　佐藤秋子（講師） （24）
	教職実践演習	2後			2		○							兼1	
	教育実習Ⅰ	1後			2	○								兼2	
	教育実習Ⅱ（現場実習）	2前			4			○							
	介護論	1前			2	○								兼1	
	小計（~~15~~　17科目）		0	0	36 ~~32~~		―		2 ~~1~~	0	1 ~~0~~	0	0		
司書・司書教諭課程科目	図書館概論	1休			2	○								兼1	集中
	図書館情報技術論	1後			2		○							兼1	
	図書館制度･経営論	2前			2	○								兼1	
	図書館サービス概論	1休			2	○								兼1	集中
	情報サービス論	2前			2	○								兼1	
	児童サービス論	1休			2	○								兼1	集中
	情報サービス演習Ⅰ	2後			1		○							兼1	
	情報サービス演習Ⅱ	2後			1		○							兼1	

教育課程等の概要

（日本文化学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
司書・司書教諭課程科目	図書館情報資源概論	2前			2	○								兼1	
	情報資源組織論	1前			2	○								兼1	
	情報資源組織演習Ⅰ	1後			1		○							兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	1後			1		○							兼1	
	図書・図書館史	2休			2	○								兼1	集中
	図書館情報資源特論	1後			2	○								兼1	
	学習指導と学校図書館	2後			2	○								兼1	
	小計（15科目）		0	0	26	―			0	0	0	0	0		
学芸員課程科目	博物館概論	1前			2	○								兼1	
	博物館経営論	2後			2	○								兼1	
	博物館資料論	1後			2	○								兼1	
	博物館資料保存論	1後			2	○								兼1	
	博物館展示論	2前			2	○								兼1	
	博物館情報・メディア論	2後			2	○								兼1	学芸員科目充実のため担当教員の変更 担当　小島有紀子（講師）（24）
	博物館教育論	2前			2	○								兼1	
	博物館実習Ⅰ	1前			1			○						兼1	
	博物館実習Ⅱ	1前			1			○						兼1	
	博物館実習Ⅲ	1後			1			○	1						
	小計（10科目）		0	0	17	―			1	0	0	0	0		
社会教育主事課程科目	生涯学習概論Ⅰ	1前			2	○								兼1	
	生涯学習概論Ⅱ	1後			2	○								兼1	
	社会教育計画Ⅰ	1前			2	○								兼1	体調不良のため担当教員の変更 担当　奥畑賢一（講師）（24）
	社会教育計画Ⅱ	1後			2	○								兼1	
	社会教育演習Ⅰ	2前			2		○							兼1	
	社会教育演習Ⅱ	2後			2		○							兼1	
	国際　高齢化と社会教育	1後			2	○								兼1	時代のニーズにふさわしい講義内容に変更のため科目名も変更（24）
	同和問題と社会教育	2後			2	○								兼1	
	社会教育行政	2前			2	○								兼1	
	健康教育	2前			2	○								兼1	
	小計（10科目）		0	0	20	―			0	0	0	0	0		
合　計（~~191~~ ~~196~~ 216科目）			2	306 ~~266~~ ~~260~~	107 ~~103~~	―			16	1	1 ~~0~~	0	0		

学位又は称号	短期大学士（日本文化学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養科目から18単位以上、導入科目2単位、フィールド別基礎科目10単位、専門科目から34単位以上（自フィールドから10単位以上、自フィールド・他フィールド・自由選択科目より24単位以上）　計64単位以上修得する。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業区分	15週
	1時限の授業時間	90分

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
導入科目		人間教育概説	1後	2			○								兼1	
		人間教育研究	1前	2			○			1						
		小計（2科目）		4	0	0		―		1	0	0	0	0		
専門教育科目（小学校・幼稚園）	教職に関する科目	子ども教育フィールド														
		教師論	1前	2			○			1						
		教育原理Ⅰ	1前	2			○			1						
		教育原理Ⅱ	1後		2		○			1						
		保育学　原理	1前		2		○			1						教職員課の指導により 科目名変更（24）
		教育心理学	1前	2			○			1					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 オムニバス 担当：勝浦範子（教授） 月本由紀子（講師） （24）
		教育制度論	2後		2		○			1						
		教科教育法・国語	2前		2		○								兼1	
		教科教育法・社会Ⅰ	1後		2		○			1						専門科目充実のため Ⅱを追加開設（25） 担当　田中　力（教授）
		教科教育法・社会Ⅱ	2前		2		○			1						
		教科教育法・算数	1後		2		○								兼1	
		教科教育法・理科Ⅰ	~~2前~~ 1後		2		○			1					~~兼1~~	専門科目充実のため Ⅱを追加開設（25） 25年度まで専任教員として 勤務（25） 担当　大西秀彦（教授）
		教科教育法・理科Ⅰ	2前		2		○			1						
		教科教育法・生活	1後		2		○			1						
		教科教育法・音楽Ⅰ	~~2前~~ 1後		2		○			1						専門科目充実のため Ⅱを追加開設（25） 担当　早川冨美子（教授）
		教科教育法・音楽Ⅱ	2前		2		○			1						
		教科教育法・図画工作	1後		2		○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員変更 担当　水島尚樹（講師） （24）
		教科教育法・家庭	2前		2		○				1					
		教科教育法・体育	2前		2		○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員変更 担当　長谷川悦示（講師） （24）
		道徳教育の~~研究~~―理論と実践	2前		2		○			1						教職員課の指導により 科目名変更（24）
		特別活動	2前		2		○								兼1	
		教育方法論	2後　休		2		○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　宮寺晃夫（講師） （24）
		教育課程論	2後		2		○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　野澤有希（講師） （24）
		視聴覚教育	2前		2		○								兼1	
		保育方法論	2後		2		○					1				
		保育課程論	1後		2		○			1						
		保育内容・健康	1後		1			○							兼1	
		保育内容・人間関係	1後		1			○		1						

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目（小学校・幼稚園）	教職に関する科目	保育内容・環境	1後		1			○		1					~~兼1~~	25年度まで専任教員として勤務（25）
		保育内容・言葉	1後		1			○							兼1	
		保育内容・表現Ⅰ（造形）	1後		1			○		~~1~~					兼1	教職員課の指導により担当教員変更 担当　水島尚樹（講師）（24）
		保育内容・表現Ⅱ（音楽）	1後		1			○		1						
		保育内容・表現Ⅲ（音楽）	2後		1			○		1						専門科目充実のためⅢを追加開設（25） 担当　早川冨美子（教授）
		児童臨床心理学　生徒指導論	2前		2		○					1				教職員課の指導により科目名変更（24）
		発達心理学　幼児理解	1前		2		○					1				教職員課の指導により科目名変更（24）
		教育相談（含むカウンセリングを含む）	2後		2		○			1					兼1	教職員課の指導により科目名と担当教員の変更 オムニバス 担当　勝浦範子（教授） 月本由紀子（講師） （24）
		幼児・児童との対話	2前		2		○					1				
		教職実践演習	2後		2			○		~~1~~ 4						専任教員4名で担当（25） 担当　大西秀彦（教授） 後藤正人（教授） 田中　力（教授） 早川冨美子（教授）
		教育実習Ⅰ	1後		2		○			1						
		教育実習Ⅱ（現場実習）	2後		4				○							
	教科に関する科目	教科専門・国語	1前		2		○			1					~~兼1~~	日本文化学科の専任教員に担当教員を変更（25） 担当　村山昌俊（教授）
		教科専門・国語（書道）	2前		2			○							兼1	
		教科専門・社会	1前		2		○			1						
		教科専門・算数	1前		2		○								兼1	
		教科専門・理科	1後		2		○			1					~~兼1~~	25年度まで専任教員として勤務（25）
		教科専門・生活	1前		2		○			1						
		教科専門・音楽（ピアノ）Ⅰ	1前		1			○		1					兼3	
		教科専門・音楽（ピアノ）Ⅱ	1後		1			○		1					兼3	
		教科専門・音楽（声楽）Ⅰ	1前		1			○		1						
		教科専門・音楽（声楽）Ⅱ	1後		1			○		1						
		教科専門・音楽（小）Ⅰ	2前		1			○		1						
		教科専門・音楽（小）Ⅱ	2後		1			○		1						
		教科専門・音楽（幼）Ⅰ	2前		1			○		1					兼3	
		教科専門・音楽（幼）Ⅱ	2後		1			○		1					兼3	
		教科専門・図画工作AⅠ	1前後		1			○		1						
		教科専門・図画工作AⅡ	1前後		1			○		1						
		教科専門・図画工作BⅠ	2前		1			○		1						
		教科専門・図画工作BⅡ	2後		1			○		1						
		教科専門・家庭	2前		2		○				1					
		教科専門・体育Ⅰ	1後		2		○								兼1	
		教科専門・体育Ⅱ	2前		2		○			1						
		介護論	1前		2		○					1				
		児童文学	2前		2		○								兼1	
		小計（~~58~~　62科目）		6	101 ~~94~~	0		―		11 ~~10~~	1	2				

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目（保育）	保育士養成課程科目	児童家庭福祉	1後		2		○								兼1	
		社会福祉	1前		2		○				1					
		相談援助	2前		1			○			1					
		社会的養護	1後		2		○			1						
		保育者論	1前		2		○			1						
		保育の心理学Ⅰ	2前		2		○					1				
		保育の心理学Ⅱ	2後		1			○				1				
		子どもの保健ⅠA	2前		2		○			1						
		子どもの保健ⅠB	2後		2		○			1						
		子どもの保健Ⅱ	2前		1			○							兼1	
		子どもの食と栄養Ⅰ	2前		1			○							兼1	
		子どもの食と栄養Ⅱ	2後		1			○		1						
		家庭支援論	1後		2		○				1					
		保育内容総論	2前		1			○		1						
		乳児保育Ⅰ	2前		1			○				1				
		乳児保育Ⅱ	2後		1			○				1				
		障害児保育Ⅰ	1前		1			○				1				
		障害児保育Ⅱ	1後		1			○				1				
		社会的養護内容	2後		1			○		1						
		保育相談支援	2後		1			○			1					
		保育実習Ⅰ（保育所）	1休		2				○							
		保育実習Ⅰ（施設）	2休		2				○							
		保育実習指導ⅠA	1前		1			○				1				
		保育実習指導ⅠB	1後		1			○				1				
		保育教職実践演習	2後		2			○		1						
		子育て支援論	2前		2		○			1						
		子どもの生活と社会	1後		2		○			1						
		子どもの自然体験	1前		1		○								兼1	
		子ども文化の創造	1後		2		○			1						
		造形表現演習Ⅰ	2前		2			○		1						
		造形表現演習Ⅱ	2後		2			○		1						
		保育実習Ⅱ	2後		2				○							Ⅱ又はⅢのいずれかを選択
		保育実習指導Ⅱ	2前		1			○				1				
		保育実習Ⅲ	2後		2				○							
		保育実習指導Ⅲ	2前		1			○				1				
		小計（35科目）		0	53	0		―		8	1	2	0	0		
フィールド専門科目	食生活	生活健康フィールド														
		栄養学Ⅰ	2前	2			○			1						
		~~栄養学Ⅱ~~ 栄養と健康Ⅰ	2後 前		2		○			1						教職員課の指導により科目名変更（24）
		栄養と健康Ⅱ	2後		2		○			1						専門科目充実のためⅡを追加開設（25）担当 北村奉正（教授）
		栄養学実験Ⅰ	2前		1				○	1						
		栄養学実験Ⅱ	2後		1				○	1						
		食品科学	1前		2		○			1						教職員課の指導により科目を追加 担当 田中宗彦（教授）（24）
		食品学	1前	2			○			1						
		食品加工学	1後		2		○			1						
		食品学実験Ⅰ	1前		1				○	1						
		食品学実験Ⅱ	1後		1				○	1						
		食品評価・鑑別論演習Ⅰ	1後		1			○		1						
		食品評価・鑑別論演習Ⅱ	2前		1			○		1						

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
フィールド専門科目	食生活	食品流通論	2後		2		○			1						
		調理学	1前	2			○			1						
		調理実習Ⅰ	1前		1				○	1						
		調理実習Ⅱ	1後		1				○	1						
		調理実習Ⅲ	2前		1				○	1						
		調理実習Ⅳ	2後		1				○	1						
		食品衛生学	2後		2		○			1						
		フードスペシャリスト論	1後		2		○			1						
		フードコーディネート論	2前		2		○			1						
	衣生活	アパレル素材論	1前	2			○			1						
		アパレル素材実験	1後		1				○	1						
		衣服管理学	2前		2		○			1						
		衣服管理学実験	2後		1				○	1						
		服飾文化論	2前	2			○			1	~~1~~					担当教員が体調不良で退職のため担当者変更（25） 担当　山内見和（教授）
		ファッション造形・洋裁Ⅰ	1前		1				○		~~1~~				兼1	担当教員が体調不良で退職のため担当者変更（25） 担当　泉水りな子（講師）
		ファッション造形・洋裁Ⅱ	1後		1				○		~~1~~				兼1	
		ファッション造形・和裁Ⅰ	2前		1				○	1						
		ファッションクラフトⅠ	2前		1				○	1						
		ファッションクラフトⅡ	2後		1				○	1						
		ファッションデザイン	~~2前~~		1				○		~~1~~				兼1	履修者がいないため25年度休講（25）
		ファッション造形学	1後		2		○				~~1~~				兼1	担当教員が体調不良で退職のため担当者変更（25） 担当　泉水りな子（講師）
		カラーコーディネート論Ⅰ	1前		2		○			1						
		カラーコーディネート論Ⅱ	1後		2		○			1	~~1~~					担当教員が体調不良で退職のため担当者変更（25） 担当　山内見和（教授）
		ファッション販売	1後		2		○			1	~~1~~					
	生活経営	生活経営学	2前	2			○				1					
		家族関係	1前		2		○				1					
		住居学	2前		2		○				1					
		保育原理	2後		2		○					1				
	健康	衛生学(予防医学を含む)	2前	2			○								兼1	
		解剖生理学	1前		2		○								兼1	
		微生物学（免疫学を含む）	2後		2		○								兼1	
		薬理概論	2後		2		○								兼1	
		精神保健	2後		2		○								兼1	
		小計（~~43~~　44　45科目）		14	58 ~~56~~ ~~54~~	0		―		4	2	1	0	0		
教職課程科目	養護	教師論	1前	2			○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師）（24）
		教育原理	1前	2			○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師）（24）

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
教職課程科目	養護	教育心理学	1後	2			○								兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 オムニバス 担当：勝浦範子（教授） 月本由紀子（講師） （24）
		教育制度論	2後		2		○			~~1~~					兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師） （24）
		教育課程論	2前		2		○								兼1	教職員課の指導により 科目を追加 担当　野澤有希（講師） （24）
		道徳教育の研究　理論と実践	2前		2		○			1						教職員課の指導により 科目名と担当教員の変更 担当　小川澄江（講師） （24）
		特別活動	2前		2		○								兼1	
		視聴覚教育	2後		2		○								兼1	
		教育方法論	2休		2		○								兼1	教職員課の指導により 科目を追加 担当　宮寺晃夫（講師） （24）
		生徒・進路指導論	2後		2		○								兼1	
		教育相談（カウンセリングを含む）	2後		2		○					1				教職員課の指導により 科目名変更（24）
		教職実践演習（養護）	2後		2			○		1						
		養護実習Ⅰ	1後		2		○			1						
		養護実習Ⅱ（現場実習）	2前		3				○							
		介護論	1後		2		○					1				
		カウンセリング演習	2後		1			○		1						
		学校保健	2前		2		○			1						
		養護概説Ⅰ	1前		2		○			1						
		養護概説Ⅱ	1後		2		○			1						
		健康相談活動	1後		2		○			1						
		看護学Ⅰ	1前		2		○					1				立川講師が懐妊のため 担当者変更 担当　髙野マチ子（講師） （24）
		看護学Ⅱ	1後		2		○					1				
		看護実習Ⅰ	1前		1				○			1				
		看護実習Ⅱ	1後		1				○			1				
		看護実習Ⅲ	2前		1				○			1				
		看護実習Ⅳ（救急処置）	2後		1				○			1				
		臨床実習	2休		2				○			1				
	中学・家庭	教師論	1前	2			○								兼1	教職員課の指導により 担当教員の変更 担当　橋本憲幸（講師） （24）
		教育原理	1前	2			○			1						○養護と共通開講
		教育心理学	1後	2			○								兼1	○養護と共通開講
		教育制度論	2後		2		○			1						○養護と共通開講

教 育 課 程 等 の 概 要

（人間教育学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教職課程科目	中学・家庭	教育課程論	2前		2		○								兼1	○養護と共通開講 教職員課の指導により科目を追加 担当　野澤有希（講師）（24）
		家庭科教育法	1後		2		○				1					
		道徳教育の研究　理論と実践	2前		2		○			1						○養護と共通開講 教職員課の指導により科目名と担当教員の変更 担当　小川澄江（教授）（24）
		特別活動	2前		2		○								兼1	○養護と共通開講
		視聴覚教育	2後		2		○								兼1	○養護と共通開講
		教育方法論	2休		2		○								兼1	○養護と共通開講 教職員課の指導により科目を追加 担当　宮寺晃夫（講師）（24）
		生徒・進路指導論	2後		2		○								兼1	○養護と共通開講
		教育相談（カウンセリングを含む）	2後		2		○					1				○養護と共通開講 教職員課の指導により科目名変更（24）
		教職実践演習（中学・家庭）	2後		2			○			1					
		教育実習Ⅰ	1後		2		○				1					
		教育実習Ⅱ（現場実習）	2前		4				○							
		介護論	1前		2		○					1				
		小計（~~41~~　43科目）		12	72 ~~64~~	0		―		4 ~~3~~	1	3	0	0		
資格科目		医療秘書学	1休			2	○								兼1	集中
		医療事務総論	2休			2	○								兼1	集中
		小計（2科目）		0	0	4		―		0	0	0	0	0		
合　計（~~184~~　189科目）				36	284 ~~275~~ ~~265~~	4		―		19 ~~14~~	2	3	0	0		

学位又は称号	短期大学士（人間教育学）	学位又は学科の分野	教育学・保育学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
子ども教育フィールドは、教養科目から18単位以上、導入科目4単位、専門教育科目から教師論・教育原理Ⅰ・教育心理学を含む42単位以上　計64単位以上修得する。 生活健康フィールドは、教養科目から18単位以上、導入科目4単位、フィールド専門科目14単位以上、教職課程科目から教師論・教育原理・教育心理学を含む28単位以上　計64単位以上を修得する。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業区分	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。

・　設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。

・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画					変更状況				備考
学科名	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
日本文化学科	科目 1	科目 136	科目 4	科目 141	科目 1 [ ]	科目 158 [22]	科目 4 [ ]	科目 163 [22]	
人間教育学科	科目 12	科目 126	科目 0	科目 138	科目 12 [ ]	科目 131 [5]	科目 0 [ ]	科目 143 [5]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	現代政治入門	2	1前後	一般	選択	担当教員が体調不良で退職し、開講できなかった。この教員が担当する予定の専門科目・教職課程科目については、代わりの担当教員を採用し対処した。「現代政治入門」は教養の選択科目であり、設置時より２科目追加して開講し配慮した。
2	フランス語ＡⅠ フランス語ＡⅡ フランス語ＢⅠ フランス語ＢⅡ	1 1 1 1	2前 2後 2前 2後	一般	選択	主に編入学を目指す学生を対象に開講している科目である。担当教員が体調不良で退職したため開講できなかった。最近中国語を履修する学生が増えているので、中国語ＡⅠ・Ⅱ、中国語ＢⅠ・Ⅱの４科目を各２講座開講して対処した。

（注）・　設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

５科目が開講できなかったが、いずれも一般教養科目の選択科目であり、代替科目を開講して配慮した。
４月の教務課ガイダンスで学生に事情を説明した。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{5}{413} = \boxed{0.01}$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	28,969 ㎡	— ㎡	— ㎡	28,969 ㎡	
	運動場用地	11,582 ㎡	— ㎡	— ㎡	11,582 ㎡	
	小計	40,551 ㎡	— ㎡	— ㎡	40,551 ㎡	
	その他	— ㎡	— ㎡	— ㎡	— ㎡	
	合計	40,551 ㎡	— ㎡	— ㎡	40,551 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		27,831 ㎡	— ㎡	— ㎡	27,831 ㎡	
		(27,831 ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(27,831 ㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	30 室	4 室	20 室	2 室 (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 — 人)	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	日本文化学科	15 室	
	人間教育学科	10 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	日本文化学科	122,124 〔 588〕 ~~119,563 〔2,433〕~~ (122,124 〔 588〕) ~~(119,563 〔2,433〕)~~	103 〔16〕 (103 〔16〕)	—〔—〕 (—〔—〕)	647 (647)	711 (711)	27 (27)	外国書の冊数に誤りがありました 訂正させていただきます(25) 総冊数(25) 252,663 冊 ~~247,438 冊~~ 外国書総冊数 4,356 冊
	人間教育学科	21,815 〔 489〕 ~~21,407 〔1,152〕~~ (21,815 〔 489〕) ~~(21,407 〔1,152〕)~~	44 〔11〕 (44 〔11〕)	—〔—〕 (—〔—〕)	2,064 (2,064)	2,935 (2,935)	240 (240)	
	計	143,939 〔1,077〕 ~~140,970 〔3,585〕~~ (143,939 〔1,077〕) ~~(140,970 〔3,585〕)~~	147 〔27〕 (147 〔11〕)	—〔—〕 (—〔—〕)	2,711 (2,711)	3,646 (3,646)	267 (267)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,378 ㎡	351	300,000	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	3,523 ㎡	テニスコート２面	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	10,000千円	10,000千円	10,000千円
共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	10,000千円	10,000千円	10,000千円

学生１人当り納付金 新設学部等の名称	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次
日本文化学科	1,277千円	907千円	—	—	—
人間教育学科	1,297千円	917千円	—	—	—

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金，資産運用収入，雑収入等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれているいる場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２５年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（25）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，黒字で記入してください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大学の名称									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
該当なし	年	人	年次 人	人		倍			

大学の名称	國學院大學栃木短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が，設置している全ての大学の学部，学部の学科，短期大学の学科及び高等専門学校の学科（ＡＣ対象学部等を含む）について，大学，短期大学又は高等専門学校ごとに，平成２５年５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

（ 日本文化学科 ）

（１）担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
専	教授 (学長)	中村　幸弘 〈平成２４年４月〉	78 (高)	日本文化概説					日本語学演習（古代語）Ⅰ 日本語学演習（古代語）Ⅱ	専門科目充実のため科目を追加（25）
専	教授	秋山　誠一 〈平成２４年４月〉	57	市民生活と経済 国際社会問題 ビジネス英語 世界の経済 金融の基礎					経済演習	國學院大學編入科目として追加（25）
専	教授	飯田　学而 〈平成２４年４月〉	79 (高)	シニア　イングリッシュⅠ シニア　イングリッシュⅡ 外国語文化(アメリカ事情) 外国語文化(イギリス事情) 言語文化						
専	教授	河田　美惠子 〈平成２４年４月〉	64	秘書実務Ⅰ 秘書実務Ⅱ 文書実務Ⅰ 文書実務Ⅱ ビジネス実務総論 ビジネス実務演習Ⅰ ビジネス実務演習Ⅱ					キャリアプランと職業	キャリア教育を充実するため科目を追加（24）
専	教授	鍛代　敏雄 〈平成２４年４月〉	52	日本文化史概説 歴史資料論 日本中世史概説 中世史料概説 古文書学概説 日本文化史演習 卒業研究						
専	教授	小林　青樹 〈平成２４年４月〉	45	日本人の起源と進化 人類の起源と進化 考古学概説Ⅰ 考古学概説Ⅱ 考古学演習 考古学フィールドワーク 卒業研究 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館実習Ⅲ	兼任	講師	小島　有紀子 〈平成２４年４月〉	30	博物館情報・メディア論 博物館教育論	学芸員課程科目充実のため担当教員の変更（24） 学芸員課程科目充実のため担当教員の変更（25） 担当　實松幸男（講師）
専	教授	酒寄　雅志 〈平成２４年４月〉	62	日本の歴史と文化 史学基礎演習 日本古代史概説 古代史料講読 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ 卒業研究					史学入門Ⅰ 史学入門Ⅱ	日本史フィールド導入科目充実のため科目を追加（24）
専	教授	田中　憲二 〈平成２４年４月〉	62	国語(ことばと表現) 文学講読(近世文学) 時代文学史(近代･現代) 日本文学演習(近世文学) 創作文芸入門(小説･随筆) 創作文芸演習(小説･随筆) 日本芸能文化論 卒業研究 文学基礎研究法※						
専	教授	田中　正弘 〈平成２４年４月〉	66 (高)	日本近代史概説 近代史料講読 古文書学演習 卒業研究						
専	教授	千明　守 〈平成２４年４月〉	53	国語(ことばと表現) 文学講読(平家物語) 時代文学史(中世･近世) 日本文学演習(中世文学) 創作文芸演習(俳句･連句) 日本語･日本文学情報処理 国語科教育法 卒業研究 文学基礎研究法※	兼任	講師	石原　広 〈平成２４年４月〉	61	国語科教育法 民俗文芸講読Ⅰ	教職員課の指導により担当教員の変更（24） 専門科目充実のため科目を追加（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
専	教授	塚越　義幸 〈平成２４年４月〉	51	中国語ＡⅠ 中国語ＡⅡ 漢文入門 民俗文芸講読Ⅱ 漢文学概説Ⅰ 漢文学概説Ⅱ 漢文学講読 卒業研究 比較文学					日本文学演習（比較文学）Ⅰ 日本文学演習（比較文学）Ⅱ	専門科目充実のため科目を追加（25）
専	教授	寺崎　宣昭 〈平成２４年４月〉	58	比較文化 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ ビジネス英語 経済史概説 経済演習					経済演習	編入指導を考慮して担当者を変更（25） 担当者　秋山誠一（教授）
専	教授	中塩　聖司 〈平成２４年４月〉	56	市民生活と経済 言語コミュニケーション ビジネス英語 基礎経済学Ⅰ 基礎経済学Ⅱ 日本の経済 経済原論(教職)						
専	教授	林田　孝和 〈平成２４年４月〉	70 (高)	日本文学概説Ⅰ 日本文学概説Ⅱ 文学講読(源氏物語) 時代文学史(上代･中古) 日本文学演習(中古文学) 卒業研究 文学基礎研究法※						
専	教授	南　芳公 〈平成２４年４月〉	61	日本語概説 日本語文法 日本語演習(古代語)Ⅰ 日本語演習(古代語)Ⅱ 日本語学各論 日本語スキルⅡ 文学基礎研究法※					日本語概説Ⅰ 日本語概説Ⅱ	國學院大学編入のためにⅠ・Ⅱ（4単位分）の開設が必要であったため科目を追加（24）
専	教授	村山　昌俊 〈平成２４年４月〉	58	国語(ことばと表現) 日本語教育 日本語表現法 日本語の歴史Ⅰ 日本語の歴史Ⅱ 日本語演習(近･現代語)Ⅰ 日本語演習(近･現代語)Ⅱ 言語学 日本語スキルⅠ 文学基礎研究法※	兼任	講師	小川　靖子 〈平成２４年４月〉	39	日本語教育	韓国で日本語教育を担当した実績があるので、担当者を変更（24）
専	准教授	大山　尚 〈平成２４年４月〉	43	国語(ことばと表現) 文学(文学とメディア) 文学講読(現代文学) 創作文芸概説 創作文芸入門 (児童文学･絵本) 創作文芸演習 (児童文学･絵本) 卒業研究 文学基礎研究法※					日本文学文学演習 （現代文学）Ⅰ 日本文学文学演習 （現代文学）Ⅱ 児童文学講読	専門科目充実のため科目を追加（25）
専	講師	坂本　達彦 〈平成２４年４月〉	35	歴史発見 史学基礎研究法 日本近世史概説 近世史料講読 古文書学研究 卒業研究					日本の歴史と文化	教養科目充実のため科目を追加（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
専	講師	堀江　則之 〈平成２４年４月〉	32	マルチメディア演習 Ｗｅｂデザイン Ｗｅｂデザイン演習 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習Ⅰ プレゼンテーション演習Ⅱ 情報機器利用 プレゼンテーション演習 ＣＧ（コンピュータ グラフィックス）					ネットワーキング原理	川又 実講師退職のため 担当教員変更（25）
兼担	教授	石山　育朗 〈平成２４年４月〉	51	スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ 健康教育 データの科学						
兼担	教授	小川　澄江 〈平成２４年４月〉	63	教職実践演習						
兼担	教授	小川　裕二 〈平成２４年４月〉	60	音楽 （オペラ･ミュージカル鑑賞法）						
兼担	教授	北村　奉正 〈平成２４年４月〉	68 (高)	化学と生活						
兼担	教授	後藤　正人 〈平成２４年４月〉	64	生命の進化 生徒進路指導論						
兼担	教授	坂口　耕史 〈平成２４年４月〉	68 (高)	教師論 教育と社会 道徳教育の研究 教育制度論 教育原理 教育実習Ⅰ	兼任 兼担 兼任 兼任	講師 教授 講師 講師	橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉 小川　澄江 〈平成２４年４月〉 橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉 橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉	30 63 30 30	教師論 道徳教育の理論と実践 教育制度論 教育原理	教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員と科目名の変更 （24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24）
兼担	教授	佐藤　圭一 〈平成２４年４月〉	66 (高)	現代政治入門 政治と人間 政治学(教職)	兼任	講師	熊谷　英人 〈平成２４年１０月〉		現代政治入門 政治と人間 政治学(教職)	体調不良のため退職 開設せず（25） 担当教員の変更（25）
兼担	教授	田中　力 〈平成２４年４月〉	66 (高)	地球環境と人間活動						
専	教授	田沼　眞弓 〈平成２４年４月〉	60	神道と日本文化 現代社会と倫理 世界の宗教 神道と社会 倫理学(教職) 宗教学概論(教職)						
兼担	教授	前田　シン子 〈平成２４年４月〉	63	スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ スポーツ･健康科学ＢⅠ スポーツ･健康科学ＢⅡ						
兼担	教授	山内　見和 〈平成２４年４月〉	47	カラーコーディネート論Ⅰ						
専	教授	山本　博子 〈平成２４年４月〉	67 (高)	フレッシュマン イングリッシュⅠ フレッシュマン イングリッシュⅡ シニア　イングリッシュⅠ シニア　イングリッシュⅡ						
専	教授	渡邉　敏一 〈平成２４年４月〉	67 (高)	図書館情報技術論 図書館制度･経営論 情報サービス論 情報サービス演習Ⅰ 情報サービス演習Ⅱ 学習指導と学校図書館 視聴覚教育					視聴覚教育	教職員課の指導により 担当教員の変更（25） 担当　山野井一夫（講師）
専	准教授	太田　映子 〈平成２４年４月〉	65	図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習Ⅰ 情報資源組織演習Ⅱ 図書館情報資源特論						
兼担	准教授	亀井　佑子 〈平成２４年４月〉	65	カラーコーディネート論Ⅱ					カラーコーディネート論Ⅱ	退職のため担当教員の変更 （25） 担当　山内見和（教授）
					専	准教授	三品　勝弘 〈平成２４年４月〉	61	フレッシュマン イングリッシュⅠ フレッシュマン イングリッシュⅡ シニア イングリッシュⅠ シニア イングリッシュⅡ	能力別クラス編成を導入した ため専任教員を追加（24） 編入科目として追加（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
兼担	講師	天野　寿々子 〈平成２４年４月〉	67 (高)	フレッシュマン イングリッシュⅠ フレッシュマン イングリッシュⅡ シニア　イングリッシュⅠ シニア　イングリッシュⅡ						
兼担	講師	石川　昌紀 〈平成２４年４月〉	40	介護論						
兼担	講師	佐藤　秋子 〈平成２４年４月〉	60	教育相談 (含むカウンセリング)						
兼担	講師	吉田　真理子 〈平成２４年４月〉	50	情報処理						
兼任	講師	伊藤　高雄 〈平成２４年４月〉	53	文学講読(万葉集) 日本文学演習(上代文学) 民俗文芸演習						
兼任	講師	大和　博幸 〈平成２４年４月〉	63	図書館サービス概説						
兼任	講師	小林　吉一 〈平成２４年４月〉	74	日本民俗学概説 民俗文芸講読~~Ⅰ~~						
兼任	講師	佐伯　由江 〈平成２４年４月〉	58	書道Ⅰ 書道Ⅱ						
兼任	講師	佐伯　良一 〈平成２４年４月〉	59	書道Ⅰ 書道Ⅱ						
兼任	講師	坂本　充正 〈平成２４年４月〉	56	書道Ⅰ 書道Ⅱ						
兼任	講師	篠塚　富士男 〈平成２４年４月〉	58	児童サービス論						
兼任	講師	崔　文姫 〈平成２４年４月〉	40	コリア語ＡⅠ コリア語ＡⅡ コリア語ＢⅠ コリア語ＢⅡ 外国語文化(韓国事情)	兼任	講師	小川　靖子 〈平成２４年４月〉	39	コリア語ＡⅠ コリア語ＡⅡ コリア語ＢⅠ コリア語ＢⅡ 外国語文化(韓国事情)	崔講師が本務校の都合で就任できず担当者の変更(24)
兼任	講師	堤　康夫 〈平成２４年４月〉	54	国語(ことばと表現) 日本文学通史						
兼任	講師	寺田　光孝 〈平成２４年４月〉	69	図書館概論 図書･図書館史					図書館概論 図書･図書館史	体調不良のため退職 担当教員の変更（25） 担当　渡邉敏一（教授） 体調不良のため退職 担当教員の変更（25） 担当　篠塚富士男（講師）
兼任	講師	傳馬　義澄 〈平成２４年４月〉	71	文学講読(近代文学) 日本文学演習(近代文学)						
兼任	講師	中西　洋子 〈平成２４年４月〉	70	日本文学特殊講義 創作文芸入門 (短歌･俳句･連句) 創作文芸演習(詩･短歌)						
兼任	講師	中村　香代子 〈平成２４年４月〉	37	国際文化交流Ⅰ 国際文化交流Ⅱ						
兼任	講師	野村　敬子 〈平成２４年４月〉	73	口承文芸Ⅰ 口承文芸Ⅱ						
兼任	講師	白　蓮傑 〈平成２４年４月〉	32	中国語ＢⅠ 中国語ＢⅡ 外国語文化(中国事情)						
兼任	講師	神村　博忠 〈平成２４年４月〉	72	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 社会教育行政 同和問題と社会教育						
兼任	講師	岸野　稔 〈平成２４年４月〉	65	教師論 社会科教育法 日本地誌 人文地理学	兼任 兼任 兼任	講師 講師 講師	橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉 篠﨑　正典 〈平成２４年４月〉 國原　幸一朗 〈平成２５年５月〉	30 29 46	教師論 社会科教育法 社会科教育法	教職員課の指導により担当教員の変更（24） 教職員課の指導により担当教員の変更（24） 篠﨑正典講師退職のため担当教員の変更（25）
兼任	講師	小疇　尚 〈平成２４年４月〉	77	自然地理学						
兼任	講師	實松　幸男 〈平成２４年４月〉	45	博物館展示論 博物館実習Ⅱ	兼任	講師	石原　宏 〈平成２５年５月〉	34	博物館実習Ⅱ	戸田正勝講師の退職のため担当教員の変更（25）
兼任	講師	戸田　正勝 〈平成２４年４月〉	63	博物館経営論 博物館実習Ⅰ					博物館経営論 博物館実習Ⅰ	体調不良のため退職 担当教員の変更（25） 担当　實松幸男（講師）
兼任	講師	橋爪　幸正 〈平成２４年４月〉	73	社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ 社会教育演習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ 国際化と社会教育	兼任	講師	奥畑　賢一 〈平成２４年４月〉	65	社会教育計画Ⅰ 社会教育計画Ⅱ 社会教育演習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ 高齢化と社会教育	橋爪講師が高齢で体調不良のため担当教員の変更（24） 橋爪講師が高齢で体調不良のため担当教員の変更（24） 時代のニーズにふさわしい講義内容に変更のため科目名も変更（24）

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
兼任	講師	橋本　澄朗 〈平成２４年４月〉	66	文化財学 博物館概論 博物館資料論 博物館資料保存論						
兼任	講師	大塚　信治 〈平成２４年４月〉	71	企業と簿記 簿記演習						
兼任	講師	川又　実 〈平成２４年４月〉	38	コンピュータと情報Ⅰ コンピュータと情報Ⅱ ネットワーキング原理	兼任	講師	森岡　宏行 〈平成２５年４月〉	28	コンピュータと情報Ⅰ コンピュータと情報Ⅱ ネットワーキング原理	四国の大学の専任教員となったため退職 担当教員変更（25） 担当　堀江則之（講師）
兼任	講師	五味　俊夫 〈平成２４年４月〉	61	プログラミングⅠ プログラミングⅡ プログラミングⅢ プログラミングⅣ						
兼任	講師	宮澤　政夫 〈平成２４年４月〉	66	マーケティングⅠ マーケティングⅡ 基礎経営学						
兼任	講師	倉持　博 〈平成２４年４月〉	58	特別活動 生徒進路指導論						
					兼担	教授	勝浦　範子 〈平成２４年４月〉	66	教育心理学	教職員課の指導により 担当教員の追加 （月本講師とオムニバス）（24）
兼任	講師	月本　由紀子 〈平成２４年４月〉	58	教育心理学						
兼任	講師	原口　友輝 〈平成２４年４月〉	31	教育原理 教育実習Ⅰ 教育制度論						
兼任	講師	石田　厚 〈平成２４年４月〉	61	日本国憲法						
兼任	講師	今出　和利 〈平成２４年４月〉	39	日本国憲法						
兼任	講師	小林　宣彦 〈平成２４年４月〉	38	現代社会と倫理						
兼任	講師	佐藤　清子 〈平成２４年４月〉	62	フランス語ＡⅠ フランス語ＡⅡ フランス語ＢⅠ フランス語ＢⅡ					フランス語ＡⅠ フランス語ＡⅡ フランス語ＢⅠ フランス語ＢⅡ	体調不良のため退職 開設せず（25）
兼任	講師	山下　勝司 〈平成２４年４月〉	74	スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ					スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ	高齢であり、学生減のため、専任教員２名で担当。支障はない。（24）
兼任	講師	松本　隆晴 〈平成２４年４月〉	65	東洋史概説Ⅰ 東洋史概説Ⅱ 東洋文化史Ⅰ 東洋文化史Ⅱ						

（ 人間教育学科 ）

（１）担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
専	教授	小川　澄江 〈平成２４年４月〉	63	教育原理Ⅰ 教育原理Ⅱ 保育学 教育制度論 道徳教育の研究 教育実習Ⅰ 教職実践演習 子育て支援論 保育教職実践演習					保育原理 道徳教育の理論と実践	教職員課の指導により 科目名の変更（24） 教職員課の指導により 科目名の変更（24）
専	教授	小川　浩子 〈平成２４年４月〉	69 (高)	教科専門･体育Ⅱ 社会的養護 子どもの保健ⅠＡ 子どもの保健ⅠＢ 社会的養護内容 学校保健 養護概説Ⅰ 養護概説Ⅱ 健康相談活動 教師論 教職実践演習 養護実習Ⅰ カウンセリング演習	兼任	講師	橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉	30	社会的養護内容 教師論	講義内容を考慮して現場を熟知している高田講師に担当者を変更（25） 担当　高田安治（講師） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24）
専	教授	小川　裕二 〈平成２４年４月〉	60	教科専門･音楽(声楽)Ⅰ 教科専門･音楽(声楽)Ⅱ 音楽(オペラ･ミュージカル鑑賞法)						
専	教授	北村　奉正 〈平成２４年４月〉	68 (高)	化学と生活 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 栄養学実験Ⅰ 栄養学実験Ⅱ 食品衛生学 フードスペシャリスト論					栄養と健康	教職員課の指導により 科目名の変更（24）
専	教授	栗原　和子 〈平成２４年４月〉	72 (高)	保育課程論 教科専門･音楽(幼)Ⅰ 教科専門･音楽(幼)Ⅱ 保育内容総論 保育内容･表現Ⅱ(音楽)						
専	教授	後藤　正人 〈平成２４年４月〉	64	生命の進化 教科教育法･生活 教科専門･生活 子ども文化の創造						
専	教授	坂口　耕史 〈平成２４年４月〉	68 (高)	人間教育研究 教師論 教育方法論 教育課程論 保育者論 教育と社会 道徳教育の研究 教育制度論 教育原理 教育実習Ⅰ	兼任 兼任 兼任 兼担 兼任 兼任	講師 講師 講師 教授 講師 講師	橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉 宮寺　晃夫 〈平成２５年４月〉 野澤　有希 〈平成２５年５月〉 小川　澄江 〈平成２４年４月〉 橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉 橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉	30 69 36 63 30 30	教師論 教育方法論 教育課程論 道徳教育の理論と実践 教育制度論 教育原理	教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員と科目名の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 教職員課の指導により 担当教員の変更（24）
専	教授	杉浦　左知(幸子) 〈平成２４年４月〉	68 (高)	教科教育法･図画工作 教科専門･図画工作ＡⅠ 教科専門･図画工作ＢⅠ 教科専門･図画工作ＢⅡ	兼任	講師	水島　尚樹 〈平成２４年４月〉	54	教科教育法･図画工作 造形表現演習Ⅰ 造形表現演習Ⅱ 教科専門･図画工作ＡⅡ	教職員課の指導により 担当教員の変更（24） 鷲崎直子教授退職のため 担当教員の変更（25）
専	教授	田中　力 〈平成２４年４月〉	66 (高)	地球環境と人間活動 教科教育法･社会 保育内容･人間関係 教科専門･社会 子どもの生活と社会						

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
専	教授	田中　宗彦 〈平成２４年４月〉	66 (高)	食品学 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品加工学 食品評価・鑑別論演習Ⅰ 食品評価・鑑別論演習Ⅱ 食品流通論					食品科学	教職員課の指導により科目の追加（24）
専	教授	早川　冨美子 〈平成２４年４月〉	53	音楽(理論と表現) 教科教育法・音楽 教科専門・音楽(ピアノ)Ⅰ 教科専門・音楽(ピアノ)Ⅱ 教科専門・音楽(小)Ⅰ 教科専門・音楽(小)Ⅱ						
専	教授	山内　見和 〈平成２４年４月〉	47	ファッション造形・和裁Ⅰ アパレル素材論 アパレル素材実験 衣服管理学 衣服管理学実験 カラーコーディネート論Ⅰ ファッションクラフトⅠ ファッションクラフトⅡ					服飾文化論 カラーコーディネート論Ⅱ ファッション販売	亀井佑子准教授退職のため担当教員の変更（25）
専	教授	湯川　晴美 〈平成２４年４月〉	60	調理学 調理実習Ⅰ 調理実習Ⅱ 調理実習Ⅲ 調理実習Ⅳ 子どもの食と栄養Ⅱ フードコーディネート論						
専	教授	鷲崎　直子 〈平成２４年４月〉	64	保育内容・表現Ⅰ(造形) 造形表現演習Ⅰ 造形表現演習Ⅱ 教科専門・図画工作ＡⅡ	兼任	講師	水島　尚樹 〈平成２４年４月〉	54	保育内容・表現Ⅰ(造形)	教職員課の指導により担当教員の変更（24） 退職のため担当教員の変更（25） 担当　杉浦左知（教授）
専	准教授	亀井　佑子 〈平成２４年４月〉	65	ファッション造形・洋裁Ⅰ ファッション造形・洋裁Ⅱ ファッションデザイン ファッション造形学 服飾文化論 カラーコーディネート論Ⅱ ファッション販売 住居学	兼任 兼任	講師 講師	泉水　りな子 〈平成２５年４月〉 相澤　邦明 〈平成２５年４月〉	41 66	ファッション造形・洋裁Ⅰ ファッション造形・洋裁Ⅱ ファッションデザイン ファッション造形学 服飾文化論 カラーコーディネート論Ⅱ ファッション販売 住居学	愛国学園短期大学へ移動のため担当教員の変更（25） 担当　山内見和（教授）
専	准教授	永田　晴子 〈平成２４年４月〉	38	教科教育法・家庭 教科専門・家庭 社会福祉 家庭支援論 保育相談支援 生活経営学 家族関係 家庭科教育法 教職実践演習 相談援助 教師論	専 兼任 兼任	講師 講師 講師	岩崎　香織 〈平成２４年４月〉 五十畑　孝之 〈平成２４年４月〉 橋本　憲幸 〈平成２４年４月〉	36 61 30	教科教育法・家庭 教科専門・家庭 社会福祉 家庭支援論 保育相談支援 生活経営学 家族関係 家庭科教育法 教職実践演習 相談援助 教師論	大妻女子大学へ移動のため担当教員の変更（25） 教職員課の指導により担当教員の変更（24）
専	講師	石川　昌紀 〈平成２４年４月〉	40	保育方法論 介護論 障害児保育Ⅰ 障害児保育Ⅱ 保育実習指導ⅠＡ 保育実習指導ⅠＢ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ						
専	講師	佐藤　秋子 〈平成２４年４月〉	60	教育相談 (含むカウンセリング) 児童臨床心理学 発達心理学 幼児・児童との対話 保育学 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ					教育相談 (カウンセリングを含む) 生徒指導論 幼児理解	教職員課の指導により科目名の変更（24） 教職員課の指導により科目名の変更（24） 教職員課の指導により科目名の変更（24）
専	講師	立川　由子 〈平成２４年４月〉	28	看護学Ⅰ 看護学Ⅱ 看護実習Ⅰ 看護実習Ⅱ 看護実習Ⅲ 看護実習Ⅳ(救急処置) 臨床実習	専任	講師	髙野　マチ子 〈平成２４年４月〉	61	看護学Ⅰ 看護学Ⅱ 看護実習Ⅰ 看護実習Ⅱ 看護実習Ⅲ 看護実習Ⅳ(救急処置) 臨床実習	立川講師が懐妊のため担当教員変更（24）

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
兼担	教授	秋山　誠一 〈平成２４年４月〉	57	市民生活と経済						
専	教授	石山　育朗 〈平成２４年４月〉	51	スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ 教科教育法･体育 教科専門･体育Ⅰ データの科学	兼任	講師	長谷川　悦示 〈平成２４年４月〉	50	教科教育法･体育	教職員課の指導により担当教員の変更（24）
兼担	教授	小林　青樹 〈平成２４年４月〉	45	日本人の起源と進化 人類の起源と進化						
兼担	教授	佐藤　圭一 〈平成２４年４月〉	66 (高)	現代政治入門 政治と人間						
兼担	教授	田中　憲二 〈平成２４年４月〉	62	国語(ことばと表現) 教科専門･国語						
兼担	教授	田沼　眞弓 〈平成２４年４月〉	60	神道と日本文化 現代社会と倫理 世界の宗教 神道と社会						
兼担	教授	千明　守 〈平成２４年４月〉	53	国語(ことばと表現)						
兼担	教授	中塩　聖司 〈平成２４年４月〉	56	市民生活と経済						
兼担	教授 (学長)	中村　幸弘 〈平成２４年４月〉	78 (高)	人間教育概説						
専	教授	前田　シン子 〈平成２４年４月〉	63	スポーツ･健康科学ＡⅠ スポーツ･健康科学ＡⅡ スポーツ･健康科学ＢⅠ スポーツ･健康科学ＢⅡ						
兼担	教授	村山　昌俊 〈平成２４年４月〉	58	国語(ことばと表現)						
兼担	教授	山本　博子 〈平成２４年４月〉	67 (高)	フレッシュマン イングリッシュⅠ フレッシュマン イングリッシュⅡ シニア　イングリッシュⅠ シニア　イングリッシュⅡ						
兼担	教授	渡邉　敏一 〈平成２４年４月〉	67 (高)	視聴覚教育					視聴覚教育	教職員課の指導により担当教員の変更（25） 担当　山野井一夫（講師）
兼担	准教授	大山　尚 〈平成２４年４月〉	43	国語(ことばと表現) 文学(文学とメディア) 児童文学						
専	講師	天野　寿々子 〈平成２４年４月〉	67	フレッシュマン イングリッシュⅠ フレッシュマン イングリッシュⅡ シニア　イングリッシュⅠ シニア　イングリッシュⅡ						
兼担	講師	坂本　達彦 〈平成２４年４月〉	35	歴史発見 日本の歴史と文化						
専	講師	吉田　真理子 〈平成２４年４月〉	50	情報処理						
兼任	講師	岸　浩一郎 〈平成２４年４月〉	59	薬理概論						
兼任	講師	齊藤　浩 〈平成２４年４月〉	55	衛生学(予防医学を含む)						
兼任	講師	芳賀　雅士 〈平成２４年４月〉	47	微生物学(免疫学を含む)						
兼任	講師	盛川　宏 〈平成２４年４月〉	46	解剖生理学						
兼任	講師	阿部　淳子 〈平成２４年４月〉	50	子どもの保健Ⅱ						
兼任	講師	小川　沙織 〈平成２４年４月〉	31	教科専門･音楽(ピアノ)Ⅰ 教科専門･音楽(ピアノ)Ⅱ 教科専門･音楽(幼)Ⅰ 教科専門･音楽(幼)Ⅱ						
兼任	講師	小野口　睦子 〈平成２４年４月〉	57	保育内容･健康						
兼任	講師	倉持　博 〈平成２４年４月〉	58	特別活動 生徒進路指導論						
兼任	講師	澤村　恵子 〈平成２４年４月〉	57	教科専門･音楽(ピアノ)Ⅰ 教科専門･音楽(ピアノ)Ⅱ 教科専門･音楽(幼)Ⅰ 教科専門･音楽(幼)Ⅱ						
兼任	講師	白石　範孝 〈平成２４年４月〉	56	教科教育法･国語 保育内容･言葉	兼任	講師	青木　伸生 〈平成２５年４月〉	47	教科教育法･国語 保育内容･言葉	本務校の都合で出講できなくなったため担当教員の変更（25）
兼任	講師	高田　安治 〈平成２４年４月〉	71	児童家庭福祉						
兼任	講師	谷口　弘一 〈平成２４年４月〉	78	自然と環境						

設置時の計画					変更状況					備考
専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	専任等区分	職位	氏名 〈就任(予定)年月〉	年齢	担当授業科目の名称	
兼任	講師	月本　由紀子 〈平成２４年４月〉	58	教育心理学 教育相談 （含むカウンセリング） 精神保健	専 専	教授 教授	勝浦　範子 〈平成２４年４月〉 勝浦　範子 〈平成２４年４月〉	66 66	教育心理学 教育相談 （カウンセリングを含む）	教職員課の指導により担当教員の追加 （月本講師とオムニバス）（24） 教職員課の指導により担当教員の追加 （月本講師とオムニバス）（24） 教職員課の指導により科目名の変更（24）
兼任	講師	夏坂　哲志 〈平成２４年４月〉	47	教科教育法･算数						
兼任	講師	野口　律奈 〈平成２４年４月〉	47	子どもの食と栄養Ⅰ	兼任	講師	成田　美紀 〈平成２５年４月〉	41	子どもの食と栄養Ⅰ	本務校の都合で出講できなくなったため担当教員の変更（25）
兼任	講師	原口　友輝 〈平成２４年４月〉	31	教育実習Ⅰ					教育実習Ⅰ	原口講師が愛知県で専任校が決定したため就任不可 「教育実習Ⅰ」は他に担当教員が1名いるため、後任はなし（24）
兼任	講師	山越　智恵子 〈平成２４年４月〉	65	教科専門･音楽(ピアノ)Ⅰ 教科専門･音楽(ピアノ)Ⅱ 教科専門･音楽(幼)Ⅰ 教科専門･音楽(幼)Ⅱ						
兼任	講師	山野井　一夫 〈平成２４年４月〉	54	視聴覚教育						
兼任	講師	山本　良和 〈平成２４年４月〉	48	教科専門･算数						
兼任	講師	石田　厚 〈平成２４年４月〉	61	日本国憲法						
兼任	講師	今出　和利 〈平成２４年４月〉	39	日本国憲法						
兼任	講師	小林　宣彦 〈平成２４年４月〉	38	現代社会と倫理						
兼任	講師	坂本　充正 〈平成２４年４月〉	56	書道Ⅰ 書道Ⅱ 教科専門･国語(書道)						
兼任	講師	堤　康夫 〈平成２４年４月〉	54	国語(ことばと表現)						
兼任	講師	中西　洋子 〈平成２４年４月〉	70	日本文学特殊講義						
兼任	講師	大西　秀彦 〈平成２４年４月〉	70 (高)	教科教育法･理科 保育内容･環境 教科専門･理科 子どもの自然体験	専任	教授				定年のため、専任から兼任へ移る予定であったが、初等教育学科の学科長を努めており、定年を１年延長して２年生が卒業するまで専任として勤務

（注）・届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

（２） 専任教員数

設置時の計画						変更状況					年齢構成	
学科名	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
日本文化学科	19 （19）	2 （2）	2 （2）	（—）	23 （23）	19 [ ]	3 [1]	2 [ ]	[ ]	24 [1]	65 歳	7 名
人間教育学科	17 （17）	2 （4）	5 （5）	（—）	24 （24）	17 [ ]	0 [△2]	6 [1]	[ ]	23 [△1]	65 歳	10 名
計	36 （36）	4 （4）	7 （7）	（—）	47 （47）	36 [ ]	3 [△1]	8 [1]	[ ]	47 [ ]	65 歳	17 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて採用されている教員数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	鷲崎 直子	造形を担当して、毎年二科展彫刻部門に出品し、平成22年には文部科学大臣賞を受賞するなど活動していたが、教職員課より最近10年間活字による業績がなく、科目を担当することは不適との指摘があり、退職することとなった。
2	准教授	永田 晴子	大妻女子大学家政学部被服学科の専任教員として移動。
3	准教授	亀井 佑子	愛国学園短期大学家政科の専任教員として移動。

（注）・ 専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

４名の専任教員の退職者が出てしまったが、大西秀彦教授には定年を延長して専任として勤務いただき、新任として勝浦範子教授・三品勝弘准教授・岩﨑香織講師の３名を採用し、設置時の専任教員数を確保した。講義内容・履修方法等も検討して、学生に影響の出ないように配慮した。
また、学生には４月のオリエンテーション・教務課ガイダンス時に事情を説明した。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」

６　留意事項に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成24年5月）	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成24年5月）	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調　　査　　時			

（注）・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況については，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

７　その他全般的事項

＜日本文化学科・人間教育学科＞

（１） 設置計画変更事項等

認　可　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

「ＦＤ委員会」を設置して、活動している。（構成員１５名）

ｂ　委員会の開催状況（平成２４年度）

開催日　５月３０日　　６月２７日
７月１８日（第１回研修会）　　７月２５日
１０月３１日　　１１月２８日
１月１６日（第２回研修会）　　２月１３日

ｃ　委員会の審議事項等

年２回の研修会について
授業アンケートについて
科研費の申請について
ＦＤ委員会活動報告書の発行について

② 実施状況

ａ 実施内容

・ 研修会の企画・進行等の検討 （第１回は研究授業、第２回は全学的な取り組み事項）

・ 授業アンケートの実施方法・集計方法・利用方法等の検討

・ 科研費申請に関する説明会を検討

ｂ 実施方法

1. ＦＤ研修会 第１回研修会（平成24年7月18日）

今年度は河田美惠子教授（秘書学担当）と坂本達彦講師（近世史担当）による研究授業を行い、全員がどちらかに参加した。終了後、参加者の意見交換があり、授業改善の一助になったものと思われる。

第２回研修会（平成25年1月16日）

「学力向上のための教授法」と題して、講演会と意見交換会を行った。まず、高等学校の青木一男教諭と神原邦夫教諭から生徒の学力低下・格差に対応するために行っている教育実践が報告された。その後、短大の各学科の教員から事例報告があり、多様な学力向上を目指す試みが紹介された。最後に、これらの報告を中心に意見交換を行った。

◎ 本学では、教員と職員が常に連携を取り合い、一体となって学生の指導・支援を行っており、ＳＤ委員会と共催の形をとって研修会には職員も全員参加している。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

第１回研修会（平成２４年７月１８日）
教職員６６名参加 欠席３名
第２回研修会（平成２５年１月１６日）
教職員６７名参加 欠席２名

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会の最後には必ず意見交換を行っている。また、参加した教職員から感想・意見を求め、冊子にして全員に配布しており、各教員が改善・向上に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ 実施の有無及び実施時期

平成１６年度後期より実施している。毎年、前・後期の最後の授業時に実施し、教務課職員が集計し、ＦＤ委員会の委員が分析して、各教員にフィードバックしている。

ｂ 教員や学生への公開状況，方法等

フィードバックされた結果をどのように受け止め、自己判断し、授業改善に取り組んでいるか、各学科のＦＤ委員及び数名の教員より報告を求め、冊子にして全員に配布している。
学生に対する公表はまだ行っていないが、慎重に審議を進めている。

（注）・「①ａ 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では平成１７年４月に「第三者評価委員会」（平成20年6月「自己点検・評価委員会）と改称）を立ち上げ、組織だった活動を進めてきた。平成２０年７月には、規程（別紙）を設け、平成２１年に短大基準教会の評価を受けるために、体制を整備して『平成２０年度自己点検・評価報告書』を作成した。教職員全員が何らかの形で報告書作成に係わり、現状の把握、部所別の点検・整備等を行った。その結果、教職員の意識改革・意識向上が図られ、厳しい時代を認識し全員が協力して短期大学の社会的使命の達成をめざして、弛まぬ努力の必要性を共有できた。
（別紙規程２（自己点検・評価委員会規程））

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成２２年８月３０日に公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員・近隣の大学・短期大学（46校）及び希望があった学生に各１冊を配布
・大学ホームページ上にも公開している

③ 認証評価を受ける計画

・平成２１年度に短期大学基準教会の認証評価を受審し、「適格」の評価を得た。以後毎年、学内で報告書を作成している。次回は平成２８年に評価を受けるべく検討中。

（注）・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） （ 平成２５ 年 ７ 月 １ 日 ）